

## 和歌山大学の宇宙教育：モデルロケットから宇宙観光まで

尾久土 正己

和歌山大学観光学部教授

和歌山大学では約 20 年前から天文・宇宙関係の各学部の教員や地域の研究者が集まり様々な教育実践を行ってきた。大型の外部資金獲得を機に 2010 年には宇宙教育研究所を設置し、宇宙教育の全国拠点を目指し、大学生だけでなく青少年から社会人まで様々な教育実践を行っている。また、2008 年に設置された観光学部においても宇宙系の教員が配置されプラネタリウムを活用した超臨場感の全天映像や近い将来始まるとされる宇宙観光などについて教育研究を行っている。

本講演では、本学で展開されている様々な教育実践を紹介するとともに、学部を越えた学生への宇宙教育の展開の場として利用している協働教育センター（愛称クリエ）の活動についても紹介する。

### 講演者略歴

大阪教育大学卒。高校教師、兵庫県立西はりま天文台研究員、みさと天文台長を経て、2003 年から和歌山大学学生自主創造科学センター(現協働教育センター)教授。2007 年から同センター長(現在に至る)、2008 年から観光学部教授。2013 年から学長補佐(教育改革担当)。

専門は天文学、天文教育、超臨場感映像、宇宙観光と年々広がっている。